

# 情報発信編

～被害者にも加害者にもならないために～

「関係のない人は興味がないだろう」などと  
考えているようなら、SNSでの発信は危険。

友達だけでなく不特定多数が見ている

ということを常に意識しましょう。

不適切な発言や投稿は炎上の

不用意なやりとりはトラブルの

火種になってしまうことがあります。

そのことを忘れないで!!

何気ないつぶやき、写真や動画に映り込んだもの、  
つながっている友達とのやりとり、いろんなピースを  
組み合わせると誰なのかわかってしまうことがある。  
実名じゃないから大丈夫！なんて安易な発想はやめて、  
発信者としての責任や安全性をちゃんと考えよう👍



# 13 悪ふざけなどの不適切な投稿

線路に下りて撮った写真をアップし



Pさん、Qくん、Rくんの3人は、学校の帰りに制服のまま線路に立ち入り、大はしゃぎで写真を撮影。仲間に見せようと、SNSにアップしました。

警察に通報されて学校にも抗議が殺到



あっという間に特定されて学校名や名前が晒され、警察に通報が。鉄道営業法違反等の罪で家裁に送致され、学校には抗議の電話やメッセージが...

考えてみよう！



学べる！  
プチ動画⑬



身内だけに見せるつもりが拡散され、大炎上することもある不適切な写真や動画。度を越した悪ふざけや悪意の投稿は、どうしたらなくなるでしょう？

## A. やろうという子がいたら

ルール・モラル違反は厳禁！  
この場合、線路は感電死する恐れもあって危険だし、「内輪しか見ない」という考えも甘い。誘いにはのらず、ダメなものはダメ！と注意して止めましょう。

## B. 投稿を見つけたら

まずは自分が拡散しないこと。そして、ネットで広まれば取り返しがつかない大ごとになると気づかせ、公開・非公開を問わず削除させましょう。反省を促し再発を防ぐことも大切です。

## C. 写真や動画以外の投稿でも…

誰かになりすましたり、ウソやフェイク情報の書き込みなども不適切な投稿です。自ら投稿するのがダメなのはもちろん、面白がって騒いだり拡散したりするのも絶対にやめましょう。

解説

## 不適切な投稿を探し拡散させて楽しむ人がいる現実

落ち着いて考えれば、やっていいことかどうか判断がつく年齢になっても、そのときのノリや勢いで撮影し、公開してしまうケースが後を絶ちません。アルバイト先で不衛生な動画をアップする若者の行為から、「バイトテロ」という言葉が誕生したほどですが、それらはいずれも「そもそもやってはいけないこと」のはず！

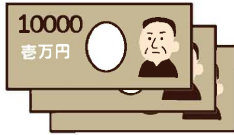
写真や動画だけでなく、なりすまし投稿やフェイク情報の書き込みなどもやってはダメ。それらを探し出し、拡散させて晒し者にして楽しむ人もいます。ネットで広まればあっという間に個人が特定され、罪に問われたり損害賠償請求をされたりすることもあります。いたずら半分でしたことの代償は、恐ろしく大きいのです。

ワンポイント  
アドバイス

「デジタルタトゥー」と称されるほど、ネットに刻まれた情報は半永久的に残ります。未来の自分を苦しめることのないよう、正しい利用を！

# 14 コミュニティサイトなどでの未成年によるアプローチ

## お小遣い欲しさに投稿したら



あの服が欲しい！  
話題のスイーツも  
食べに行きたい♪



MY SNS  
SJKです！  
お話大好き♡  
食事デート希望  
(条件あり)  
ID送ってくれたら  
詳細送ります

※ SJKは「セカンド女子高生(高校2年生)」を指す隠語

お小遣い稼ぎに軽い気持ちで「パパ活相手募集」のメッセージをSNSに投稿したSさん。食事に行くことになり、家族に黙ってでかけました。

## 連れて行かれそうになった



お客様！  
どうかされましたか？  
大丈夫ですか？

食後気分が悪くなり、急に眠くなって…異変に気づいた店員に助けられました。Sさんの離席中、パパ活相手が睡眠薬を飲み物に入れたことが原因でした。

## 考えてみよう！



学べる！  
プチ動画14



あらゆる情報がネットから入って来るため、「欲しいモノ」や「やりたいコト」がいっぱい。でも、安易なお小遣い稼ぎはダメ。欲しい気持ちを上手にコントロールするには？

### A. 今あるお金で上手に楽しむ

〇〇さんがドラマで着ていた服やゲームのアイテムが欲しい！話題のスイーツ店やテーマパークにも行きたい！全部はとても無理なのだから、優先順位をつけながらやり繰りを。

### B. 一呼吸置いて落ち着こう

情報を得た瞬間に「欲しい」と思うことは、誰にでもあります。もっと情報を！と調べてしまうと、衝動は激しくなる一方です。深追いせず翌日考えるなど、一呼吸置くことが有効です。

### C. 保護者に相談してみよう

コソコソ外出したり、急に服が増えたりすれば、家族も気づきます。まずは保護者に相談を。一時的に借りる、家の手伝いや長期休暇のバイトなど、安全な解決策を一緒に考えましょう。

## 解説

## 危険な書き込みは、出会い系から非出会い系へとシフト

デートや食事だけで金銭的支援をしてくれる人との交際活動を「パパ活(ママ活)」と呼び、援助交際よりも軽い気持ちで相手を募る人がいます。投稿先が出会い系からSNSなどのコミュニティサイトへと変わり、言い方が「パパ活(ママ活)」や「JKビジネス」に変わっていても、その危険性は援助交際と全く変わりません。

こうした行為は、お金を支払ってもらえる保証がない上、児童買春、薬物投与、誘拐、ストーカー、恐喝などの犯罪被害にあうケースもあり大変危険。たとえ「お散歩デート」のように一見害がなさそうなことでも、会ってしまえば何が起きるかわかりません。自分の身を危険にさらす行為だということを忘れず、良識ある行動を。

## ワンポイント アドバイス

今、欲求をコントロールする力を養えば、これから先の役に立ちます。「欲しい」「やりたい」を並べ優先順位をつけるなど工夫してみましょう。

# 15 アルバイト応募が招いた犯罪への加担

簡単に高収入なバイトに応募して

荷物を受け取るだけでいいんだ！  
やってみようかな？



Tくんが卒業生のSNSを見ていたら、先輩の知り合いが投稿した「高額バイト」情報が。連絡してみたら、簡単な仕事で高校生でもOKとのこと。

荷物を受け取りに行ったら警察官が



さっき通報があった件か！？

指示された家まで行ったものの、怖くなってうろろしていたら、警察官に職務質問されたTくん。オレオレ詐欺の片棒を担がされていたことがわかり、警察へ。

考えてみよう！



消費者教育

SNSに投稿されたアルバイト情報の中には、犯罪の手伝いをさせられるなど、危険なものも潜んでいます。怪しげな情報に騙されないために、気をつけたいことは？

### A. ハッシュタグだらけの募集

「#裏バイト」「#高額バイト」等のハッシュタグがいっぱい並ぶ投稿は、誰がどう見ても怪しい。雇用主や仕事内容の記載がなければ無視するのが一番。関心を持つのは危険です。

### B. 好条件でも飛びつかない

好条件をエサに接触を待つ、勧誘目的で友達申請をする等、悪意の仕掛けはさまざま。友人・知人が発信した情報でも、また聞きや再投稿の可能性が。安易な連絡は絶対にやめて！

### C. 将来を台無しにしないで！

詐欺の受け子等は、使い捨て。見つかって逮捕されることや、犯人グループとトラブルになるケースも。手っ取り早く稼ぎたい、スリルを味わいたいという気持ちで罪を犯すことのないように。

解説

## オレオレ詐欺など特殊詐欺の検挙人員のうち約2割が少年

警察庁『令和2年における特殊詐欺の認知・検挙状況等について』によれば、特殊詐欺での少年の検挙人員は491人(全体の18.7%)。その約8割が被害者からお金等を受け取る「受け子」で、受け子の5人に1人が少年です。

受け子の報酬は中高生にはかなりの高額かもしれませんが、詐欺グループにとっては、だまし盗った金額のごく一部にすぎません。捕まるリスクが高い使い捨て要員として、都合よく利用されているのが現実です。

中には、自宅を知られ、家族への危害を恐れて抜け出せなくなったケースもあるそうです。犯罪者となって将来を台無しにするようなことにならないよう、報道記事などを事例にして話し合ってみましょう。

ワンポイント  
アドバイス

どんなに心が動いても、「簡単に高収入なバイトなんてない」ことや、「犯罪に加担すれば捕まってしまう」という現実から目をそらさないで！

# 16 SNS等での誹謗中傷による慰謝料請求

## 有名人の悪口を再投稿・拡散したら



テレビやネットでの言動が気に入らない有名人の悪口を見つけて再投稿し拡散させたU君。悪口や嫌がらせ投稿はどんどんネットに広まっていき...

## 発信者として特定され慰謝料請求



虚偽の投稿内容により名誉を傷つけられたとして、最初の投稿者だけでなく再投稿・拡散したU君も訴えられ、慰謝料などを請求されてしまった。

「政府広報インターネットテレビ」

## 考えてみよう！



学べる！  
プチ動画16



併せて見たい事例動画  
SNSの誹謗中傷  
～あなたが奪うもの・失うもの～



いら立ちを覚えたり、自分の中の正義感が高じたりして、過激な投稿で個人攻撃をする人がいます。こうした加害行為(再投稿\*も含まれる)をしないために注意したいことは？

※再投稿: 共感したり気に入ったりした情報をそのまま投稿して他者に広める行為。サービスにより「リツイート」「リグラム」「リポスト」等と称される。

### A. 誹謗中傷 ≠ 批判意見

ほとんどのSNSには「誹謗中傷禁止」の利用規約があります。相手の人格を否定する言葉や言い回しは、批判ではなく誹謗中傷。その違いを正しく見極め、安易に投稿・再投稿をしないで。

### B. 匿名性による気のゆるみ

対面や実名では言えないのに、匿名だと言えたり攻撃性が増したりすること。たとえ匿名でも、投稿の発信者を特定できる仕組みがあり、民事上・刑事上の責任を問われる可能性が...

### C. カツとなっても立ち止まって

怒りは人の自然な感情ですが、はけ口にされやすいのがSNS。炎上したり訴えられたりしてから「あんな投稿しなければよかった」と悔やんでも時間は戻せません。書いた勢いで送信しない習慣を!

## 解説

## 「目立つ存在なんだから仕方がない」という主張は通用しない

SNS上で、悪意を感じる投稿を見かけることがあります。中には「正義感からやったこと」と主張する人もいますが、「立場」や「事実かどうか」を問わず、人格を否定または攻撃するような投稿は正義ではありません。

近年、YouTuberやインフルエンサー、事件・事故の関係者ほか、『有名な人』と感じる範囲が広がると共に、主体的に投稿する人以外の「安易に再投稿・拡散する人」も増えています。たくさんの悪口が集まれば、集団攻撃となり人を酷く傷つけます。たとえ相手がどんな人であっても、単に再投稿しただけであっても、**民事上・刑事上(損害賠償請求、名誉毀損罪による罰金、侮辱罪による拘留等)の責任を問われる可能性があります。**このことを肝に銘じて、法律や利用規約等のルールやモラルを意識した、正しい利用を心がけましょう。

## ワンポイントアドバイス

誹謗中傷は、再投稿者でも「広めることに加担した」とみなされます。投稿・再投稿する前に必ず「自分が言われたらどう思うか」を考えて!

もっと  
深掘り!



# ココロ・カラダ・いのちを守るために 知っておきたい対処方法

SNS上で言い争ってしまうと、さらに悪化してしまう可能性もあります。  
設定を見直す、信頼できる人・窓口相談する等、冷静に対処しましょう!

炎上投稿に直接参加するのは、ごく限られた一部の人に過ぎないという研究結果(令和元年版 情報通信白書)があることから、「**誹謗中傷は多数意見ではない**」「**世の中の人全てが攻撃しているわけではない**」と考えて身近な人に相談してみましょう。もしも、保護者・先生・友人には相談しづらいと思ったら、専門の窓口を積極的に利用してください。

※スマホ等で目にする情報のかたよりにについては、**特集1**で学べます。

その①

ミュートやブロック  
等で距離を置く

攻撃しているのはごく一部だと  
わかっても人は傷つきます。まずは  
できることからやってみましょう

その②

人権侵害情報の  
削除を依頼

## とりあえず“見えなくする”設定に

よく使われるSNSには、やりとりをコントロールする機能が備わっています。**相手に知られずに投稿を非表示にする機能(ミュート)**をうまく活用しましょう。**つながり自体を断つ機能(ブロック)**もありますから、深く傷つく前に「見えなくする」ことをお勧めします。

また、**返信やコンタクトができる相手を制限できる機能**もあります。それぞれ、名称や操作方法等はサービスやアプリによって異なります。調べて確認しながら使ってみてください。



## 削除依頼の流れ



- ① 可能な状況であれば、投稿者に削除してほしいと連絡してみる(無理は禁物)
- ② 該当する投稿のURLやアドレスを控える【画面(=スクリーンショット)や動画の保存も重要】
- ③ 「通報」「報告」「お問い合わせ」など削除依頼等ができるページやメニューを探す
- ④ フォームに従って必要な選択・入力を行い漏れがないか内容を確認して、送信!



**発信者の特定も可能** ミュートやブロック、削除依頼だけでは解決しない場合、匿名の発信者を特定して、損害賠償請求などを行うことも可能です。発信者開示請求を行いたい場合は、弁護士にご相談ください。

## 困ったら、傷ついて辛かったら、1人で悩まず相談を!

電話、メール、各種SNS、Webチャット等を使って、誰にも知られずに相談することができる公的窓口はいろいろあります。**1人で抱え込まず、相談してみましょう。**

- インターネット違法・有害情報相談センター <https://www.ihaho.jp/> (総務省支援事業)
- 法務省「インターネット人権相談受付窓口」 <https://www.jinken.go.jp/>
- 厚生労働省「まもろうよ ころろ」 <https://www.mhlw.go.jp/mamorouyokokoro/>

その③  
信頼できる機関  
に相談する



SNSはハートですよ!

総務省は、「#NoHeartNoSNS (ハートがなけりやSNSじゃない!)」をスローガンとするインターネット上の誹謗中傷対策の一環として、人気キャラクター『秘密結社 鷹の爪』とコラボした「鷹の爪団の#NoHeartNoSNS大作戦」特設サイトを開設しています。(2022年12月までの期間限定公開)



[https://www.soumu.go.jp/use\\_the\\_internet\\_wisely/special/noheartnosns/](https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/special/noheartnosns/)

◎ インターネット上の誹謗中傷への対策 ◎ (総務省サイト内/相談フローも掲載)

関連するさまざまな資料や情報へのリンクがまとめられています。併せてご活用ください>>>  
[https://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/joho\\_tsusin/d\\_syohi/hiboutyusyou.html](https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/d_syohi/hiboutyusyou.html)



自分の相談をどこにすれば良いのか迷ったら、次ページの「相談フロー」で判断してみてください。

